

千羽鶴を未来へ残すアートプロジェクト メモリアルアート作品の完成について

令和元年10月から実施している「令和元年度復興応援品活用震災伝承業務」において、震災後、東松島市へ届けられた沢山の方々の思いが込められた千羽鶴を活用して制作したアート作品について、被災地東松島市として「鎮魂・復興・感謝」に改めて強く思いを寄せ、先般3月11日に完成・お披露目し震災復興伝承館で常設展示しています。

これまで東松島市に世界各地から寄せられている支援に対する「感謝」の気持ちを世界に発信し、後世に伝承していくとともに、皆様の応援の気持ちに伝えるよう、以下の取組を通じて、持続可能な復興まちづくりへの歩みを進めて参ります。

1 アート作品について

作品名： ONE IN A CRANES HIGASHI MATSUSHIMA 2020
千分の一羽鶴 東松島 2020
作者名：野老朝雄＋鶴岡信太郎＋小平裕子

完 成：令和2年3月11日（水） 東松島市震災復興伝承館1階で常設展示

2 光のアートイベント『#1000 LIGHTs in Higashi Matsushima2020』の 期間限定開催について

3月11日に実施した震災復興伝承館及び震災遺構（旧野蒜駅プラットフォーム）を舞台としたキャンドルで光の紋様を描くアートイベントを期間を延長し開催しています。

開催日時：3月11日（水）から15日（日）まで
18時から19時30分まで

※但し、天候やその他の事情により中止となる場合があります。

3 これまでの経緯

震災から9年の月日を経て、かつて被災地の向こう側で思いを込めて作られ届けられた東松島市と支援者との絆の証である「千羽鶴」を活用した造形作品を制作し保存・伝承していくため、「令和元年度復興応援品活用震災伝承業務」として合同会社コミュに委託し、東京オリンピック・パラリンピックのロゴをデザインしたアーティストの野老朝雄（ところ あさお）氏に協力いただきました。

■問合せ・申込

復興政策部政策事業推進室 小野寺 TEL0225-82-1111(内線1472)

～あの日の「感謝」を忘れず ともに未来へ～